

科学技術振興機構（JST）
さがけ「力学機能のナノエンジニアリング」領域

第3回公開シンポジウム
-2021年度採択課題（3期生）成果発表-

- 【日 時】 2024年12月14日（土）10:00～17:00
【開催形式】 会場・リモート（Zoom Webinar）のハイブリッド開催
【会 場】 AP市ヶ谷8階会議室 開場：9:30
<https://www.tc-forum.co.jp/ap-ichigaya/>
【参加費】 無料
（事前登録制 申込み締切：12月12日（木）12:00）
【参加申込み】
https://form.jst.go.jp/s/presto_nanomech_3rdsympo_01

※会場参加申込みは定員（80名）に達し次第締め切ります。
※締切後は恐れ入りますが、オンライン参加申込みをお願いいたします。

【問い合わせ先】nanomech@jst.go.jp

科学技術振興機構（JST）では、2019年度よりさがけ「力学機能のナノエンジニアリング」（略称「ナノ力学」）の研究領域を進めてまいりました。
本領域は、種々の機能性材料のナノスケールの動的挙動とマクロの力学特性との関係を解明し、材料共通の学理の構築、革新的な新規機能性材料設計指針の導出を目的としています。
今回は、2021年度採択課題（3期生）の3年間の研究成果を報告いたします。
金属・セラミック・ポリマーなど各種材料の研究開発にご興味をお持ちの大学・公的研究機関はもちろんのこと、企業の皆様のご参加をお待ちしております。

https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/research_area/ongoing/bunya2019-2.html

主催



プログラム：2024年12月14日（土） 10:00～17:00

さがけ「ナノ力学」2021年度採択課題

領域HP：https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/research_area/ongoing/bunya2019-2.html

9:30	開場
10:00 ～ 10:15	北村 隆行（京都大学 名誉教授） さがけ「ナノ力学」研究総括 開会挨拶・領域紹介 座長 北村 隆行（発表20分 質疑10分）
10:15 ～ 10:45	譯田 真人（物質・材料研究機構 主幹研究員） 多自由度界面での変形伝播制御に基づく強化指針創出
10:45 ～ 11:15	柴沼 一樹（東京大学 准教授） 高温クリープ損傷のマルチスケールフィジックス
11:15 ～ 11:45	雷 霄雯（東京科学大学 准教授） 幾何学と力学融合に基づく回位制御による材料機能設計
	休憩
13:00 ～ 13:30	南谷 英美（大阪大学 教授） 構造トポロジー情報を応用した靱やかな機械学習力場の構築
13:30 ～ 14:00	松中 大介（信州大学 教授） 第一原理機械学習手法によるナノ異材界面の力学特性の解明
14:00 ～ 14:30	大塚 雄市（長岡科学技術大学 准教授） 疲労摩耗のスケールアップ過程のマルチモーダル計測
	休憩
14:45 ～ 15:15	玉手 亮多（物質・材料研究機構 独立研究者） 超高分子量ポリマーに基づく新奇機能開拓
15:15 ～ 15:45	石田 忠（東京科学大学 准教授） ハイドロゲル摩擦のナノ潤滑機構の流体力学的解析
	休憩
15:55 ～ 16:25	加藤 和明（東京大学 特任研究員） 緩やかな拘束を用いた高分子樹脂の強靱化
16:25 ～ 16:55	小椎尾 謙（九州大学 准教授） 二軸伸長変形下におけるマルチスケール構造解析による 非晶性高分子の分子鎖凝集構造と変形メカニズム
16:55 ～ 17:00	北村 隆行（京都大学 名誉教授） 閉会挨拶

主催